

海・丘・浦の個性を磨く西海循環構想 SAIKAI JUNKAN INITIATIVE

～ エリア毎の特長を活かして創蓄省エネを推進するcarbon-free Park Land～

代表提案者

西海市

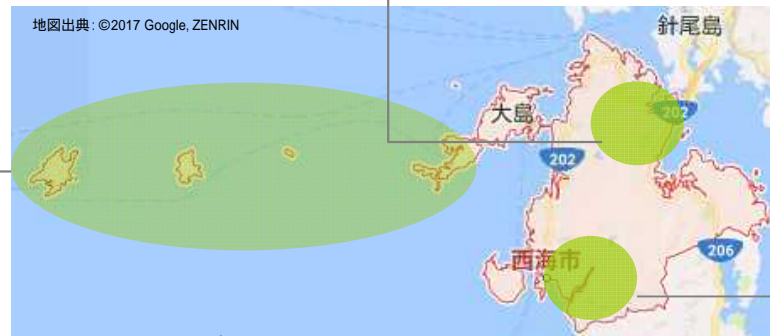
西海市全体として移住者・交流人口を増やし定住できる環境を整備していくことが求められているが、5町が合併し面積も大きい本市は地域ごとにその特性が大きく異なる。そのため、離島を含むシーサイドエリア、佐世保市に近く通勤に便利なベッドタウンエリア、佐世保市や長崎市からは遠い西側のスローライフエリアにわけ、それぞれ創蓄省を活用した地域課題解決の取り組みを進める。

エリア別のリーディングプロジェクト

LP1: **カゼノシマ** プロジェクト
(海・シーサイドエリア)

LP2: **クラシノオカ** プロジェクト
(丘・ベッドタウンエリア)

LP3: **ソウゾウノウラ** プロジェクト
(浦・スローライフエリア)

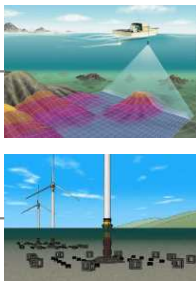


地域貢献型
洋上風力



右図出典: (一社)海洋産業研究会
「洋上風力発電等の漁業協調のあり方提言」

環境
調査
データ
利用



漁礁
設置

賃貸型パッシブタウン開発



住民向けデマンドバス



住民収集の
間伐材



木質バイオマス
熱電併給事業



施設園芸



豊富な洋上再エネ資源を活用し、地域共存・共栄型の洋上風力発電事業を誘致し、地元の漁業や海運会社への貢献を図るとともに、観光客等の交流人口増加も目指す。崎戸エリアの産業観光の活性化も目指す。

子育て世代をターゲットとした賃貸パッシブタウンを開発し、市内外大手企業の家族などの利用を見込む。古民家再生のシェアハウスで学生の取り込みも狙う。新住民に役立つデマンドバスも開始する。市の空き家再生事業とも連動。

雪浦にて、木質バイオマスエネルギーを軸とする再エネ地産地消事業を展開。施設園芸などに熱を共有する。間伐材収集など市民も関わることで、コミュニティ意識のさらなる醸成を図る。エネルギー事業収益を原資とした地域通貨も活用。他地域にもノウハウ展開する。